

2学年進路だより

～知ろう！入試編～

Vol.1 2020年6月4日

2021年度大学入試（2020年秋～2021年3月実施）から、大学入試の仕組みが大きく変わります！今回は、高校2年生のうちから理解しておくべき、新しい大学入試の仕組みについて説明します。より細かな情報は後日配布される「令和2年度 進路のしおり」にも掲載されるので、この進路だよりと合わせて理解を深めましょう。

新入試について

新入試は選抜方法を基準に2つの方法に大きく分けることができます。

方法① 一般選抜

• 学力試験が中心となり、私立大学では多様な入試方式が可能である。

○試験日自由選択式制：複数の日程より自由に選んで受験できる入試制度。併願校の重複を避けられる。

○得意科目重視型：得意科目の点数に一定の倍率をかける入試制度。得意科目を活かすことができる。

○大学入試共通テスト利用型：共通テストを利用する入試制度。

• (国公立) **大学入試共通テスト** + 個別(2次)試験での総合判定

方法② 学校推薦型選抜・総合型選抜

• 面接、小論文、プレゼンテーション、口頭試問、実技試験、

資格・検定資料の成績の提出、大学入試共通テスト等のいずれかにより評価される。

• 学校での学業成績、活動歴 (**ポートフォリオ**の内容) もまた評価の対象となる。

(例) ポートフォリオに記載した活動の記録を元に「高校の学び」を発表するなど。

『蛭雪時代』2020年4月号より抜粋

大学入試共通テストについて

大学入試共通テストについて、2020年(今年度)より「入試改革」の一環として以下のような変更が加わる予定です。先の話として捉えず、「今を考える情報材料」として、必ず一読しましょう。

Point1 名称がセンター試験から『大学入試共通テスト』に変わる！

Point2 「問われ方」が変わる！

大学入試共通テストではセンター試験と同じくマーク方式で出題されます。その際、「知識の有無を試す問題」ではなく「知識をいかに使えるかを試す問題」が出題されます。つまり、暗記した知識を答えるのではなく、グラフや表から資料を読み解く問題、複数の情報を活用して課題を解決する問題など「**思考力**」「**判断力**」「**表現力**」がより求められます。

Point3 英語の配点が変わる！

従来のセンター試験英語では筆記試験200点満点、リスニング試験50点でした。大学入試共通テストでは**筆記試験100点満点、リスニング試験100点**となります。配点が1:1になっているため、**リスニングの重要性**がより増します。

『河合塾 Kei-Net 2021年度入試情報』より抜粋 [【https://www.keinet.ne.jp/exam/future/】](https://www.keinet.ne.jp/exam/future/)

受験形態について

専門学校の入試区分は、「一般入試」「推薦入試」「AO入試」となり名称に変更はありませんが、基本的に下記の方法に準じて行われます。

下記の内容は毎年配布される「**進路のしおり 資料編(大学・短大の入試概要と傾向)**」に掲載されます。入試が高校受験と大きく異なるのは、**受験形態や入試方式が多様**であることです。なお、今年度においてはコロナウイルスの影響により、例年通りの実施とならない学校もあります。

◆一般選抜(旧一般入試)

1. 私立大の試験

- 7月～11月にかけて出願。1月下旬～2月にかけて全国的に試験を実施。
- **入試方法が多様**である。(同じ大学・学部への複数回の受験、1回の試験で複数の学部へ併願することが可能になる全日程試験など)
- 大学や学部により特定の科目の配点を高くする傾斜配点を利用している方式もあるため気になる大学は早めに情報を入手し、対策を立てること。

2. 大学入学共通テスト利用入試(旧センター試験利用)

- 1月中旬に行われる大学入試共通テストを受験した結果を大学に提出する。
- 一度の試験で複数の大学に出願することができ、**受験の負担を減らす**ことが可能である。
- しかし、この方式を利用する受験生も多く、**倍率がかなり高くなる**傾向がある。

◆学校推薦型選抜(旧推薦入試)

- 募集方法は大きく分けて「指定校制」と「公募制」の2通りがある。
- 原則として学校長の推薦が必要。**出願は11月以降**。
- 小論文、プレゼンテーション、口頭試問、実技、筆記試験、資格・検定試験の成績、大学入学共通テスト等の活用。
- 推薦条件は各大学により異なり、年度により条件は変わることがある。

【指定校制出願基準例】「東洋大学文学部」：全体の評定平均値が4.4以上 + 英検準2級取得
「獨協大学外国語英語学科」 → 全体の評定平均値が3.8以上 + 英検CSE2150以上取得 or TOEIC L&R スコア 600点以上取得など

【公募制出願基準例】「東洋大学文学部」 → 全体の評定平均値が3.6以上
「文教大学経営学部」 → 全体の評定平均値が3.7以上(例はR1年度参照)

◆総合型選抜(旧AO入試)

- 学校長の推薦を必要とせず、**面接や志望理由書を中心に**評価する。**出願は9月以降**。
- 学力試験だけでなく、小論文、口頭試問、プレゼンテーション等による評価を重点的に行う。

【プレゼンテーション試験例】

「自分が思う最も身近で社会的・福祉的なサービスとは何か」(2018年東京福祉大学)

「地域の商店街で継承されてきた技術や文化にはどのようなことがあるか」(2019年日本大学)

草加南高校における校内推薦基準

- 草加南高校では、学校長の推薦を受けるために必要な条件が下記のように定められており、下記の日数を超えた場合**いっさいの推薦を受けることはできません**。
- 評定1以下(欠点:10段階で2以下)を取った場合も同様となります。

| | | 欠席 | 遅刻 | 早退 |
|-------|------------|-------|-------|------|
| 指定校推薦 | 大学・短大・専門学校 | 8日以内 | 10日以内 | 5日以内 |
| 公募制推薦 | 大学・短大・専門学校 | 15日以内 | 20日以内 | 8日以内 |